

● ハルジオンとヒメジョオンをくらべてみよう

谷津ミュージアムの掲示板周辺に、ハルジオン（春紫苑）とヒメジョオン（姫女苑）の群落が見られます。農道に沿って、右側と左側に分かれるように生えていますね。

ハルジオンはほとんどの花が開いていますね。反対側のヒメジョオンはほとんどがつぼみです。ハルジオンの花は春から咲きますが、ヒメジョオンはそれよりやや遅く、初夏のころからハルジオンと入れ替わるようにして咲きはじめます。

ハルジオンとヒメジョオンはキク科の植物で、小さな花が多数集まった頭花（頭状花）をつけます。頭花は周辺部の白い舌状花と中心の黄色の管状花から成り立っていて、よく似ています。両種を比較してみましよう。

	舌状花	葉のつき方	開花時のロゼット	茎
ハルジオン	 細く弱々しい	 茎を抱く	 残っている	 中空
ヒメジョオン	 幅が広くしっかりしている	 茎を抱かない	 残っていない	 中空ではない

少し離れた所にヘラバヒメジョオンの群落があります。ヒメジョオンと比較してみましよう。ヘラバヒメジョオンは名前のように葉がへら形で、全体が細く、頭花も小型です。ヘラバヒメジョオンは主に郊外や山間地などに見られるようです。（飯島和子）



ヘラバヒメジョオン



ヒメジョオン(上)とヘラバヒメジョオン(下)の頭花



ヒメジョオンの葉



ヘラバヒメジョオンの葉